



うつ病のおくすりについて

① 指示された通りに服薬しましょう

抗うつ薬による治療は、最初は少量から開始します。症状や副作用などを医師が判断して、徐々に量を変えていきます。薬の量が増えたからといって不安になり、自己判断で量を減らしたりせずに、指示された通りに飲みましょう。副作用が現れた場合はまず医師にご連絡ください。

② 薬の量を自分で調整してはいけません

抗うつ薬は、医師の指示通りに欠かさず飲み続けることによって、効果があらわれてきます。調子が悪いからといって、飲んだり飲まなかったりすると、十分な効果を得ることができませんし、思わぬ副作用が出てしまうこともあります。

また、少し調子がよくなったからといって自己判断で薬を減らしたり中止したりすると、再発の可能性が高くなりますので、自分で判断せずに、先生と相談しながら治療しましょう。

③ あきらめずに服薬を続けましょう

抗うつ薬は飲み続けることによって効果があらわれるお薬です。効果が出てくるまでに1カ月ほどかかることもあるので、辛抱強く服薬をつづけましょう。



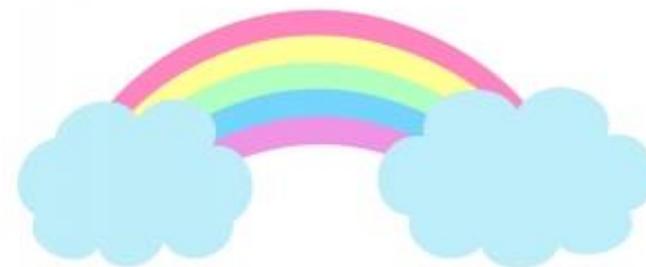
うつは治療できる病気です

- 決して特別な病気ではなく、だれでもかかる可能性があります。
- 症状にあった治療を受けること、辛抱強く治療することが大切です。
- 早期発見・早期治療が回復への近道です。まずは、専門医に相談してみましょう。
- うつ病の治療方法には精神療法と薬物療法などがあります。

興味がある方は担当医まで、
うつ病の”治療”について
ご相談ください。



<相談窓口>
浅川クリニック 院長
03-5600-0033



こころのSOS、気づいていますか？

当院では
うつ病を対象とした
治療を行っています。



相談できる窓口があります。



📌 治験とは？

国から薬として承認を受けるために行われる臨床試験の事です。

この治験は「うつ病」の患者様を対象としており、新しく開発された薬の人に対する有効性（効き目）や安全性（副作用）などを確認します。

📌 治験に参加するメリット

- ・ 治験薬費用の全額、検査にかかる費用の一部もしくは全額は治験の依頼者が負担します。
- ・ 一般の診療より詳しい検査や診察が受けられます。
- ・ 新しい治療やお薬をいち早く取り入れることができます。
- ・ 治験に参加することで社会貢献となります。
- ・ 病院の規定に従って、治験協力金が支払われます。

📌 治験に参加する不便、デメリット

- ・ 治験参加中には、使ってはいけない薬、飲食に関する決まりがあります。
- ・ 受けていただく検査の数、来院回数が、通常よりも多くなる場合があります。
- ・ 治験薬が効かない、また、副作用が起こる場合があります。

📌 治験のスケジュール

- ・ 治験の予定期間は約5カ月間です。
- ・ 来院回数は全15回（1～2週毎の来院頻度）となります。

	スクリーニング期	抗うつ薬および治験薬治療期														中止時	後観察
		開始時	1週後	2週後	3週後	4週後	6週後	8週後	9週後	10週後	11週後	12週後	13週後	14週後			
採血、採尿	●							●			●			●	●		
体温、血圧、脈拍	●	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	●		
身体所見	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ウエスト周囲径		●						●						●	●		
身長	●																
体重	●							●						●	●		
12誘導心電図	●							●						●	●		
妊娠検査	●	●						●						●	●		

*スクリーニング期：治験の開始前に検査をしたり、現在服用中のお薬から治験薬に切り替える準備などをします。
*後観察：治験を安全に終了するための期間です。

📌 ご参加いただくための条件

- ・ 20歳以上、65歳未満の方
- ・ うつ病の症状が8週間以上続いている方
- ・ 抗うつ薬を6週間以上服用しているが、効果が不十分である方 等



治験への参加は自由意思です。

いかなる不利益をこうむることなくいつでも、治験参加を拒否したり、治験の途中で参加を取りやめることができます。あなたが治験に参加しないと決めたり、途中で治験への参加を取りやめたりしても、治験担当医師やスタッフからの治療などは続けて行われます。

